

新型コロナウイルス感染予防のための取組

・毎日、健康チェック表に体温・健康状態の記入

毎朝体温と風邪症状がないかのチェックを各家庭で「健康チェック表」に記入していただき、担任が教室前廊下で確認後、教室に入っています。

・登校時にサーモカメラを使用した体温チェック

検温忘れの生徒等の体温も確認できるよう昇降口で毎朝カメラチェックをしています。「健康チェック表」に体温を記入していない生徒は、学習室で体温を測定して教室へ入るようにしています。



・手洗いの徹底を呼びかける掲示や、流しの整備

登校後・給食前・トイレの後・共用物を使った後などは必ず石けんと流水で手を洗うように指導しています。手洗い場に密集しないように、フットマーク表示や呼びかけを行っています。



・密にならないよう、校内の掲示や時差給食・時差清掃

フィジカルディスタンスを意識させるポスター「まいりゅう(市教委作成)」を廊下に掲示。生徒が密集しないよう、学年で一斉に行動する際は時間差で活動しています。また、給食は机の距離を取り、会話を控えて前向きで食事をとっています。



・空気循環のため、教室での換気に加えサーキュレーターの使用

教室内は常時、後方廊下側・前方校庭側の窓を開け換気していますが、空気を循環させるためにサーキュレーターを使用しています。冬期は加湿器で湿度を管理しています。



・1日1回校内の消毒作業

アルコールや次亜塩素酸を使用し、職員で消毒作業を行っていましたが、11月から「学校再開ガイドライン」及び「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に則り、清掃の時間に生徒たちが界面活性剤で共用部分・トイレ・手洗い場の消毒を行っています。

☆その他にも、学校行事等で新しい生活様式を取り入れています。

- ・心と体に関するアンケートの実施
- ・中根台中版「学校の新しい生活様式」の検討と教職員研修
- ・学級活動での感染症予防指導と差別・偏見防止教育の実施

